



地 理 B 問 題

はじめに、これを読むこと。

(注意事項)

1. この問題用紙は 11 ページまでである。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. これは、地理Bの問題である。解答用紙が出願時に選択した科目であるかどうか確認のうえ、解答すること。
3. 解答用紙の所定の欄に、必ず氏名を記入すること。
4. 解答用紙には受験番号が印刷されているので、受験番号が正しいかどうか受験票と照合し確認すること。
5. 解答はすべて「解答用紙」の解答欄に記入またはマークすること。解答欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆又はシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入すること。
7. 訂正は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 文字は一点一画まで正確に書くこと。
10. **解答用紙は持ちかえないこと。**
11. この問題用紙は必ず持ちかえること。
12. 試験時間は 60 分である。
13. マークの記入例

良い例	悪い例
	

〔 I 〕 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

世界の人口問題には、基本的に二つの方向がある。一つは が生じている 国の人口問題であり、もう一つは として知られる 国の人口問題である。これら二つの方向は相互に関連するため、そこからさらに2つの特徴が生まれている。一つは、2つの力のうち の力の方が よりも大きいため、結果として世界の総人口はやはり増加傾向を示していること、もう一つは、 国といえども、 国からの投資等によって工業化が多少とも進んでくると、 の傾向が生じてくることである。実際、程度の差はあっても、合計特殊出生率の減少傾向は 国に特有の傾向ではない。

近年人口が減少に転じた日本では、合計特殊出生率が減少し、一時的に1.3を割り込んだが、その後1.4台まで回復している。現在、政府は、夫婦の意向や独身者の結婚希望等から算出された2025年の希望出生率 を掲げ、多様な政策が進められつつある。他国の例を見ると、例えば、北欧デンマークの合計特殊出生率は、1960年代後半から1980年代前半にかけて著しく減少した後、上昇に転じ、1995年以降は比較的安定的に推移している。

(資料：OECD ファクトブック 2015/16 より)

問 1 空欄 ～ に当てはまる最も適切な語を、解答欄に記入しなさい。

問 2 空欄 に当てはまる最も適切なものを以下の選択肢から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

A 1.5 B 1.8 C 2.1 D 2.4

問 3 現在、日本が目標とする希望出生率 を最後に実現した年はいつか。最も適切なものを以下の選択肢から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 1964年 B 1974年 C 1984年 D 1994年

問 4 2013年におけるイギリス、フランス、デンマーク、日本の4か国の合計特殊出生率を高い方から順番にならべると、どれが正しいか。最も適切なものを以下の選択肢から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A デンマーク、フランス、日本、イギリス
B デンマーク、イギリス、フランス、日本
C フランス、デンマーク、日本、イギリス
D フランス、イギリス、デンマーク、日本

問 5 北欧のデンマーク、スウェーデン、ノルウェー、フィンランドの4か国は福祉国家として知られるが、2013年におけるこの4か国の合計特殊出生率の水準はどのくらいか。最も適切なものを以下の選択肢から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 1.2～1.5 B 1.6～1.9 C 2.0～2.3 D 2.4～2.7

問 6 北欧の財政に関し、人口問題との関係で見られる財源と歳出の特徴について、30字以内で論じなさい。

〔Ⅱ〕 次の(a)から(d)までの文章を読み、以下の設問に答えなさい。

(a) 現在のラテンアメリカの農業は、16～18世紀にかけて同地を植民地化したスペイン人やポルトガル人が持ち込んだ を基礎として発展した。この特徴の一つとして、農地の所有者は実際の農作業には従事せず、代わってその居宅に住み込みの労働者とその家族が働いてきたという点があげられる。これによりラテンアメリカでは、自分で土地を所有して農業を行う中産階級農民が育成される素地が形成されなかったと言われている。しかしその一方で、ラテンアメリカ各地では特定の農産物が集中的に生産される傾向が生まれた。例えば1965年のブラジルでは、 の生産が輸出農産物の6割近くを占めていた。こうしたモノカルチャー的な農作物の生産形態は現在も続いている。

問1 空欄 に当てはまる最も適切な名称を以下の選択肢から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

- | | |
|----------|-----------|
| A 大土地所有制 | B 中土地所有制 |
| C 小土地所有制 | D 零細土地所有制 |

問2 空欄 に当てはまる最も適切な名称を以下の選択肢から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

- | | |
|---------|---------|
| A カカオ豆 | B バナナ |
| C コーヒー豆 | D サトウキビ |

(b) ラテンアメリカの工業化は、20世紀半ばに大きく進展した。この時期、国内産業の育成を目指して、それまで諸外国から取り寄せていた消費財を自国で生産加工しようという が始まった。欧米諸国の資本や技術を積極的に導入することで、工業化のさらなる加速を目指す動きも顕著になり、 を積極的に設けて、税法などに関する特別認可を外国企業に与える国も出てきた。

問 3 空欄 に当てはまる最も適切な名称を以下の選択肢から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

- | | |
|----------|-----------|
| A 輸出代替工業 | B 工場制機械工業 |
| C 家内制手工業 | D 輸入代替工業 |

問 4 空欄 に当てはまる最も適切な名称を以下の選択肢から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

- | | |
|----------|----------|
| A 自主貿易区 | B 自由貿易区 |
| C 無制限貿易区 | D 非制限貿易区 |

(c) ラテンアメリカ諸国における工業化の進展は深刻な社会問題を生み出した。その一つがスラムの形成である。工業化の進展は首都をはじめとする主要都市への人口の大移入を促進し、都市内遊休地の不法占拠が多発した。こうした街区は、特にブラジル諸都市では通常 と呼ばれ、治安や衛生の面で大きな問題が指摘されている。こうした街区で暮らす人々は国家の公的な統計に記録されない様々な経済活動に従事するケースが多い。このような経済活動は と呼ばれる。

問 5 空欄 に当てはまる最も適切な名称を以下の選択肢から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

- | | |
|--------------|---------|
| A ビジャス・ミセリアス | B ファベーラ |
| C カルチェ | D ゲットー |

問 6 空欄 に当てはまる最も適切な名称を以下の選択肢から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

- | | |
|---------------|-----------|
| A 第三セクター | B 違法セクター |
| C インフォーマルセクター | D 非合法セクター |

(d) 電力の確保と供給は一国の経済成長を左右する重要な要素である。21世紀現在、日本をはじめとする世界の主要国の大半は、火力発電を主体として電力の生産に力を入れている。しかしこうした状況で、ブラジルでは を中心とした電力生産が主力であることは注目に値する。またブラジルの電力事情を見ると、その国土の広大さと、近年の経済成長を背景とした電力不足という問題も看過できない。このためブラジルは、自国内での電力生産に加えて、国外からの電力の購入も必要としている。よく知られている輸入相手国は である。この国は、イタイプ・ダムによって生み出された余剰電力をブラジルに販売していることでも知られている。

問 7 空欄 に当てはまる最も適切な名称を以下の選択肢から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

- | | |
|---------|---------|
| A 水力発電 | B 地熱発電 |
| C 原子力発電 | D 太陽光発電 |

問 8 空欄 に当てはまる最も適切な名称を以下の選択肢から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

- | | |
|----------|---------|
| A アルゼンチン | B ウルグアイ |
| C ボリビア | D パラグアイ |

問 9 以下の表1は、2013年のラテンアメリカ諸国における農産物の生産量を示したものであり、表2は大豆生産の経年変化を示したものである。各国とも大豆生産の比率が相対的に高く、年を追うごとに高まっている理由と、これに伴って起きていると考えられる主要問題を30字以内で説明しなさい。

表1 ラテンアメリカ諸国における農産物の生産量 千 t

国名	小麦	米	とうもろこし	いも類	大豆
アルゼンチン	9,188	1,563	32,119	2,589	49,306
ウルグアイ	1,533	1,359	693	187	3,200
パラグアイ	1,430	617	4,120	2,849	9,086
ブラジル	5,738	11,783	80,273	25,788	81,724
ボリビア	224	426	1,064	1,453	2,347

出所：『世界国勢図会 2015/16年版』より作成。

表2 ラテンアメリカ諸国における大豆生産の経年変化 千 t

国名	1989-1991 平均	1999-2001 平均	2011	2012	2013
アルゼンチン	9,354	22,339	48,889	40,100	49,306
ウルグアイ	31	18	1,830	3,000	3,200
パラグアイ	1,604	3,181	8,310	4,345	9,086
ブラジル	19,629	34,260	74,815	65,849	81,724
ボリビア	296	1,106	1,861	2,061	2,347

出所：『世界国勢図会 2015/16年版』より作成。

〔Ⅲ〕 以下の神田先生と和泉さんとの会話文を読み、下記の設問に答えなさい。

和泉さん：「卒業論文の準備として基礎的な環境問題のレポートを書いています。」

神田先生：「一口に環境問題といっても、自然環境の変動によるもの、人間生活に起因するもの、また多くは双方が結びついていますよね。」

和泉さん：「はい、地球の温暖化現象の要因について調べても、地軸のぶれや太陽活動の影響だけではなく、化石燃料の使用による二酸化炭素の排出のような人間生活からの影響も大きいと思います。」

神田先生：「二酸化炭素の増加による地球温暖化の具体的な影響は？」

和泉さん：「北極圏では海氷が減少し、南極では棚氷の大規模な崩壊が報告されています。」

神田先生：「温室効果ガスの削減を求めた1997年の京都議定書から18年を経て、2015年にパリでCOP 21が開催されましたが、その違いはわかりますか？」

和泉さん：「京都議定書は主に先進国主導でしたが、パリ協定では気候変動枠組条約に加盟する多くの途上国も批准し、2015年時点で二酸化炭素の排出量が最も多い も合意しました。」

神田先生：「工場や自動車に対する二酸化炭素の排出規制のほか、広域の森林保全も重要だと思います。森林破壊は1992年に開催された地球サミットでも大きく取り上げられましたが、現在では と呼ばれる違法伐採の森林監視システムの運用も進んでいます。」

和泉さん：「気候変動と人間生活が密接に結びつく砂漠化とその対策についても、レポートで触れる予定です。例えばアフリカのサヘル地域に位置する 国のように生ゴミを使った緑化への取り組みについて調べてみます。また、同じサヘルでもバマコを首都とする 国のように政情不安と治安の悪化でなかなか効果的な環境政策に取り組めない国もあり、一概に人々の環境意識の改善だけでは片付かない問題です。とにかく、世界レベルでの砂漠化などの対策として

5 の取り組みなども調べてみます。」

神田先生：「確かに環境問題は一国では解決できない問題が多い。また、先進国と途上国での産業構造も考慮しなければならない。近年、大気汚染が問題とされてきたインドなどの 6 諸国は、工業重視による経済発展の政策に頼らざるを得なかった事情もあります。現在ではだいぶ改善されてきましたが、日本でも、化石燃料を燃やした際に発生する窒素酸化物などが、大気中で紫外線と化学反応することによって発生する 7 が、大きな社会問題になった時期がありました。」

和泉さん：「日本の公害問題についても図書館で調べてきます。」

問 1 空欄 1 に当てはまる最も適切な国を以下の選択肢から1つ選び、
解答欄にマークしなさい。

- A 中国 B インド C ロシア
D アメリカ E ブラジル

問 2 空欄 2 に当てはまる最も適切な用語を以下の選択肢から1つ選
び、解答欄にマークしなさい。

- A アグリセンサー B バイオセンシング
C リモートセンシング D ヒートセンサー
E グローバルネット

問 3 空欄 3 に当てはまる最も適切な国を、図 1 の記号から1つ選び、
解答欄にマークしなさい。

- A ア B イ C ウ
D エ E オ

問 4 空欄 4 に当てはまる最も適切な国を、図 1 の記号から 1 つ選び、
解答欄にマークしなさい。

- | | | |
|-----|-----|-----|
| A ア | B イ | C ウ |
| D エ | E オ | |

問 5 空欄 5 に当てはまる最も適切な用語を以下の選択肢から 1 つ選
び、解答欄にマークしなさい。

- | | | |
|-------|---------|-------|
| A FTS | B UNHCR | C WHO |
| D ICT | E UNEP | |

問 6 空欄 6 に当てはまる最も適切な用語を以下の選択肢から 1 つ選
び、解答欄にマークしなさい。

- | | | |
|----------|---------|--------|
| A UNIFEM | B IFC | C AIIB |
| D BRICS | E NAFTA | |

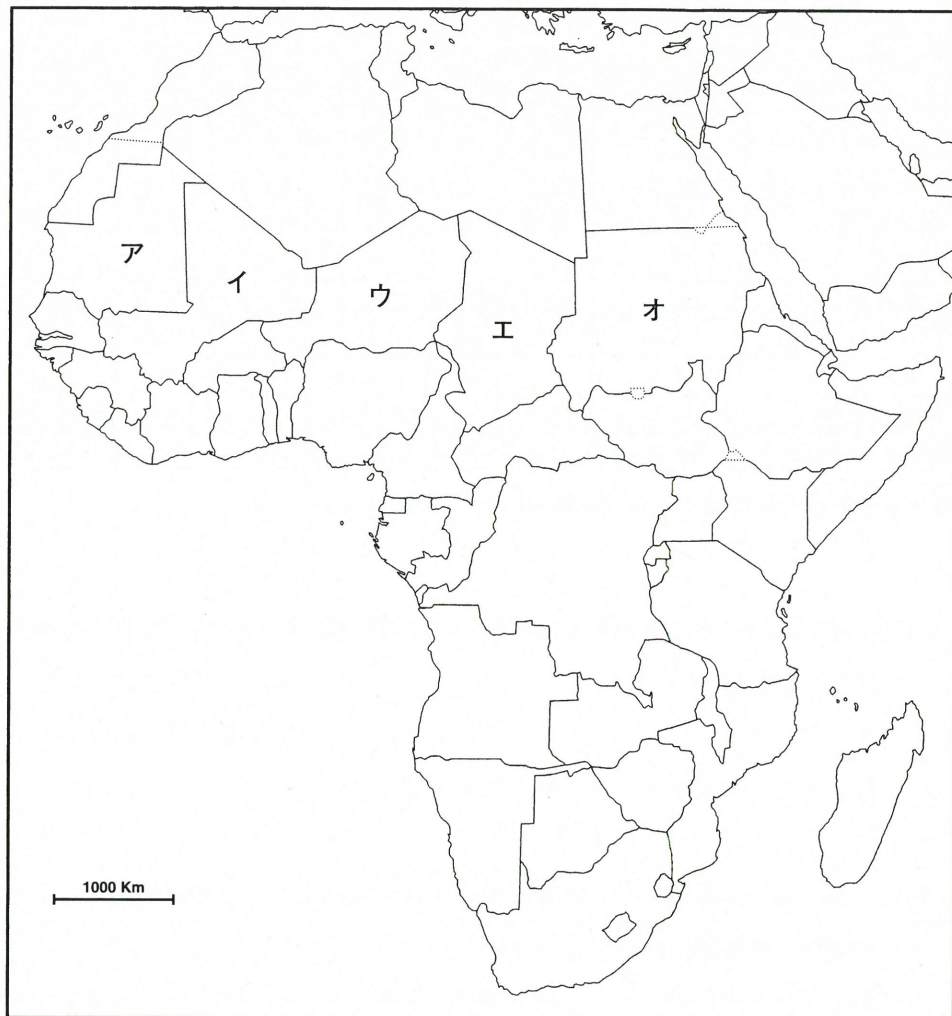
問 7 空欄 7 に当てはまる最も適切な用語を以下の選択肢から 1 つ選
び、解答欄にマークしなさい。

- | | | |
|----------|-----------|-------|
| A エアロゾル | B 光化学スモッグ | C PCB |
| D ダイオキシソ | E PM2.5 | |

問 8 下線部アの北極圏に位置するものを以下の選択肢から 1 つ選び、解答欄に
マークしなさい。

- | | |
|-------------|--------------|
| A アンティル諸島 | B アンティポデーズ諸島 |
| C バレニー諸島 | D クローゼー諸島 |
| E スヴァールバル諸島 | |

問 9 下線部イに関し，日本の4大公害病を解答欄に記入しなさい。



(http://d-maps.com/carte.php?num_car=737&lang=en などにより作成。)

図 1

〔Ⅳ〕 表1は、世界の6つの地域の宗教別人口構成を示したものである。この表に関連する以下の設問に答えなさい。

表1 世界の地域別・宗教別人口構成：2014年 %

	オセアニア	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	世界合計
キリスト教(計)	73.5	92.3	8.6	78.2	48.6	78.0	33.0
カトリック	24.0	81.0	3.4	37.3	17.5	24.9	16.9
プロテスタント	33.3	10.1	2.2	12.7	18.4	17.3	7.4
東方正教	2.7	0.2	0.4	27.3	4.4	2.2	3.9
その他	13.5	1.1	2.6	0.9	8.2	33.6	4.8
イスラーム	1.6	0.3	26.4	6.1	41.6	1.5	23.1
ヒンドゥー教	1.4	0.1	22.3	0.2	0.3	0.5	13.5
仏教	1.6	0.1	11.7	0.3	0.0	1.3	7.1
その他の宗教	2.5	3.4	16.6	0.6	8.9	3.3	11.9
無宗教・無神論	19.4	3.8	14.4	14.6	0.7	15.4	11.4

2015 Encyclopedia Britannica Book of the Year による。

問1 表1の(ア)～(オ)に該当する地域を、以下の選択肢から1つずつ選び、解答欄にマークしなさい。

- A アフリカ B アジア C ヨーロッパ
D ラテンアメリカ E 北アメリカ

問2 次の(あ)～(お)の国で最も信者の多い宗教・宗派を、以下の選択肢から1つずつ選び、解答欄にマークしなさい。

- (あ) インドネシア (い) スリランカ (う) フィリピン
(え) ブルガリア (お) 南アフリカ
- A カトリック B プロテスタント C 東方正教
D イスラーム E ヒンドゥー教 F 仏教
G ユダヤ教